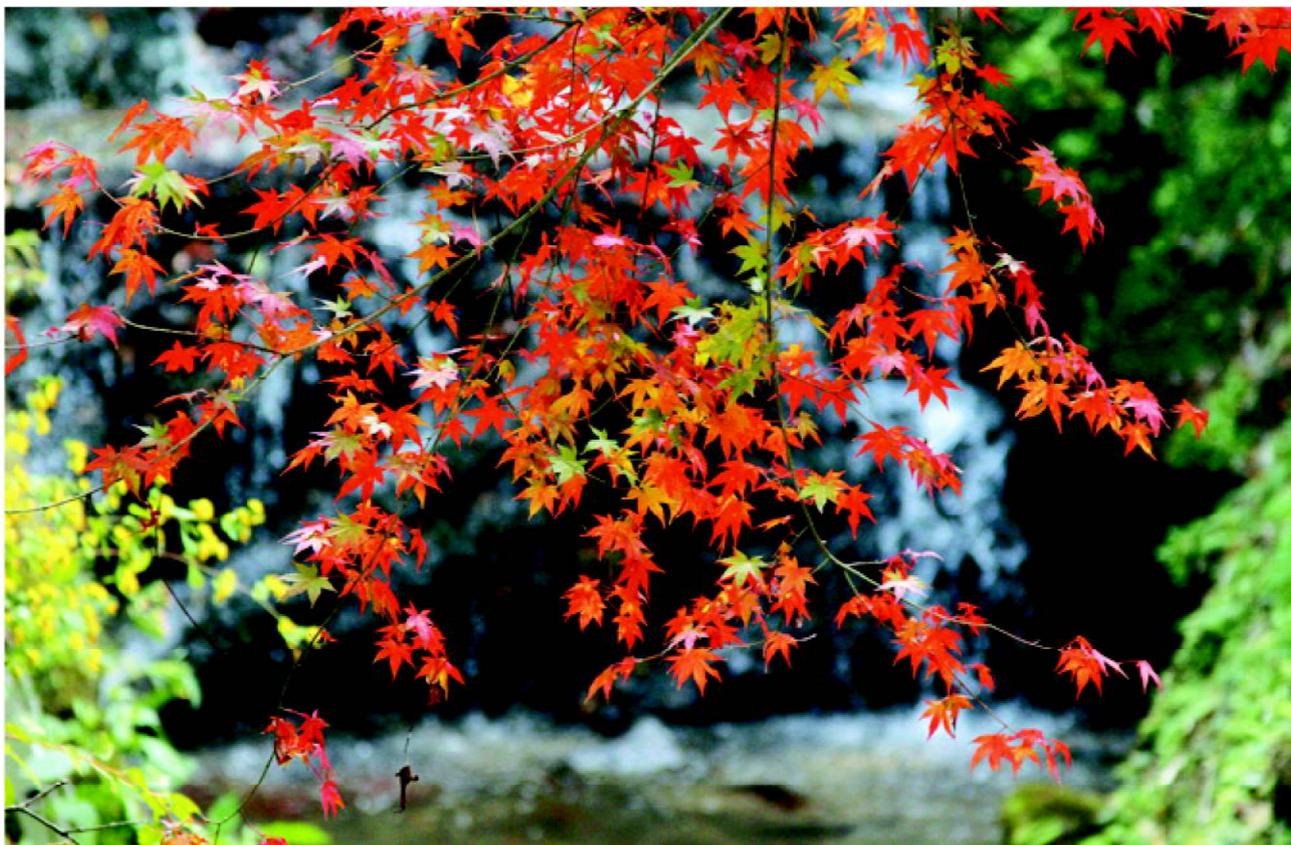


船橋市立医療センターNews No.22

●発行年月日/平成26年10月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 高原 善治
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/>



「秋の入口」(長野県) 当院職員撮影



喉元過ぎれば

船橋市立医療センター院長 高原 善治

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがあります。日本は地震国ともいわれるほど、他国に比べ大地震が起こる国ですが、当院ではそれに対する備えはできているのでしょうか？

東日本大震災から3年が過ぎ、もう一度考えてみました。あの時、当院の被害は医局の本棚が倒れたり、一部外壁のタイルがはがれたりしましたが、甚大な被害はありませんでした。しかし、その後行われた計画停電では病院機能に重大な影響が生まれました。当時は無停電電源装置(停電になっても途切れることなく電力を供給するための装置で特に電子機器に必要)が充分でなく、継続したコンピューター制御が必要な機器が使用できなくなり、また自家発電装置も長時間(3時間以上)の対応が不可能でした。まずこれら電気関連の設備を整備し直しました。また、他の病院では水道が使用できなくなり、飲料水や生活用・診療用水の不足が大きな問題となりました。これに対しても非常用の井戸を整備しました。さらに、万一に備え、今年はいまだ以上に現状に即した想定で防災訓練を行いました。これにより職員一人ひとりが災害に備える気持ちを持ち続けることにもなると思っております。設備が改善されたといっても、喉元過ぎることのないように、突然起こる災害に対処していきたいと思っております。

目次

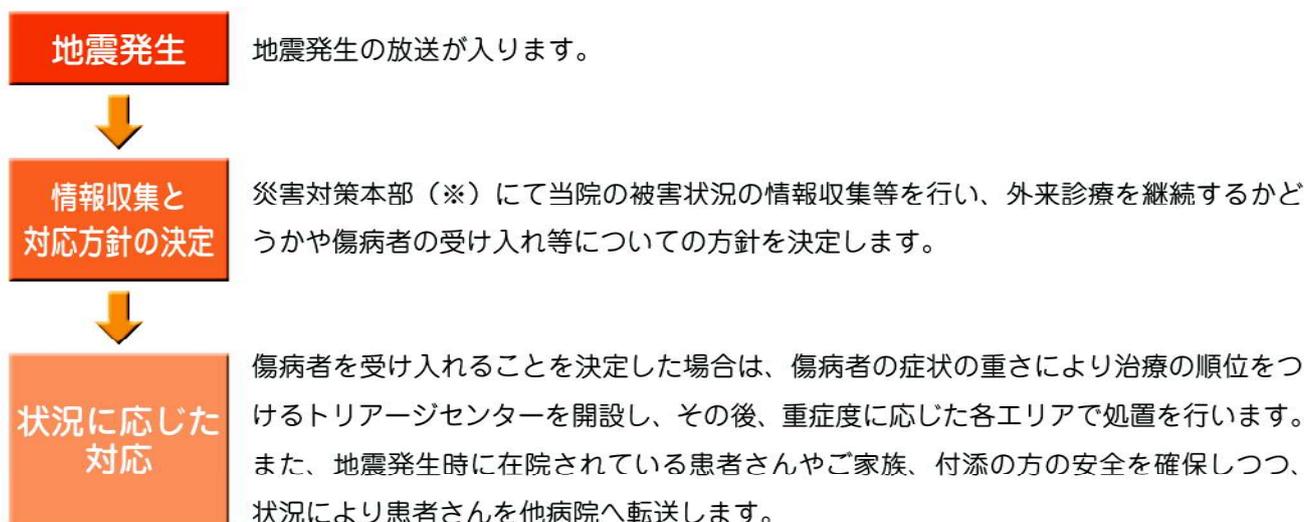
院長あいさつ…………… 1	森岡外来師長が表彰されました／
特集 災害に備えて～いざという時のために～… 2～3	村川研修医が呼吸器学会で受賞／公開医療講座の報告… 5
病棟で活躍する薬剤師…………… 4	救命救急センターの現場から／研修医のつぶやき…………… 6
	おしらせ／看護師募集…………… 7

災害に備えて

～いざというときのために～

東日本大震災の復興もまだ道半ばの状態ですが、首都圏でもいつ直下型地震が起きてもおかしくないと言われていています。当院は、災害拠点病院として、いざというときのために日頃から施設・設備等のハード面のみならず、人員体制の整備や定期的に各種訓練を行うなど、ソフト面も含めて様々な対策をとっています。そこで今回は、当院の災害対策について紹介します。

●地震(震度5強以上)による災害発生時の当院の対応



※災害対策本部とは……

院長を長とする災害対策本部員からなる機関で、災害対策の指揮をとります。震度5強以上または災害対策本部長が本部立ち上げの決定を行った場合に設置され、各部署からの被害状況報告や、市、消防局、他病院と連携して被災情報を収集した上で、当院から避難するかどうかの決定、外来診療や手術の中止等の判断、トリアージセンターの開設決定等を行います。その後、他病院への協力依頼や医療材料等の確保等を行います。

～その他の活動～

当院には医師、看護師(2名)、業務調整員の4名以上で構成される災害派遣医療チーム(DMAT)があります。DMATは専門的な研修・訓練を受けた者から構成され、日本国内における大規模災害や多数の傷病者が発生した事故現場に向かい、災害の急性期(概ね48時間以内)に活動します。

●●当院の設備や人員体制等

施設について



建物すべてが耐震基準に適合しています。また、エレベーターは震度4程度から安全装置が働き、最寄りの階に自動停止し、ドアが開きます。その後、エレベーターは使用出来なくなります。



非常用自家発電装置

設備について



大規模な地震が発生した場合、電気・ガス・水道が停止する可能性が高くなりますが、当院は非常用自家発電装置と非常用井戸を備えていますので、発電装置の稼働により、約3日間は非常用電源と水を使用できます。



非常用井戸

人員体制等について



当院の防災マニュアルに基づき、震度5強以上の地震が発生した場合、全職員が当院に参集し、それぞれの部署で役割を果たします。また、道路状況等の悪化により、食料等の確保が困難になることも予想されるため、当院では1万食を超える食料のほか、簡易ベッドや毛布なども備えています。



災害備蓄品

●●防災訓練を実施しました

今年は8月31日（日）に「災害対策本部とトリアージセンターの連携強化」をテーマに「平日の午前10時、市内で震度6弱の地震が発生」という想定で、船橋市や市内11病院、医療5団体（医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、看護協会）と連携して大規模な訓練を実施しました。

当日は、院内に災害対策本部を立ち上げ、その指示のもと、市内11病院や医療団体が設置した応急救護所から搬送されてきた患者さんをトリアージセンターで重症度に応じて振り分け、速やかに処置し、病棟や他病院等に搬送する訓練を行いました。病院職員やボランティアなど、約150名が真剣な表情で参加していました。



▲真剣な眼差しで訓練を見つめる松戸徹市長



▲1人でも多くの命を救うためのトリアージ。処置を行った患者さんを手術室へ搬送▶



病棟で活躍する 薬剤師

～サービス向上を目指して～

みなさん、こんにちは。

今回は病棟で活躍する薬剤師について、紹介します。



病棟で患者さんに薬について説明

当院において薬剤師が病棟で医師や看護師、そのほかの医療スタッフと一緒に仕事を始めたのは、今より18年前の平成8年6月からです。当初は一部の病棟で患者さんに薬の説明などを開始しました。その後、徐々に拡大し、現在では全病棟が対象となっています。医師や看護師などの医療スタッフに正しい薬の情報を提供することはもちろんのことですが、その最大の目的は、患者さんへの薬の説明にあります。薬の説明を行うことによって、薬物治療の安全性を担保するとともに治療効果を最大限に引き出すことを念頭に日々、努力しています。患者さんにどのような薬が使われているのか、その投与量は正しいのか、投与期間は間違っていないのか、薬を複数使う場合には、その飲み合わせ（専門的には相互作用と言います）は大丈夫なのか、などなど、多くのことを確認したうえで、患者さんには、わかりやすく今使っている薬の説明をしています。また、薬には副作用が起こる場合があります。患者さんと毎日会話などをさせていただき、その表情や受け答え、あるいは、いろいろな検査値などを参考にして、いち早く副作用の発現を察知して、最小限の副作用となるよう対応しています。患者さんご自身が薬の効能効果や副作用などを理解していただければ、より適切に薬物療法を行うことができます。病棟薬剤師はその手助けをしています。

また最近では、入院して手術を予定している患者さんを対象に、より安全に手術を行うため、患者さんが服用している当院の薬はもちろん、他の病院の薬やサプリメント、健康食品、一般市販薬などを入院する前に確認させていただき業務を一部で開始しました。これにより、より適切に、より安全に手術ができるようになりました。今後は、すべての入院患者さんを対象に業務拡大していきたいと考えています。



入院前に患者さんの服用薬を確認

「薬のあるところに、必ず薬剤師あり」となるよう日々努力してまいります。みなさん、どうぞよろしくお願ひします。

薬剤局長 小安 勝

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

森岡しずか外来師長が 千葉県看護功労者知事表彰にて表彰されました

5月17日に平成26年度千葉県看護功労者知事表彰が行われ、森岡しずか外来師長が千葉県知事より看護功労者として表彰されました。森岡師長は、表彰の喜びを次のように語りました。

「当院が開院した翌年の2月に看護師として採用されてから30年間、当院と共に歩んできました。その間オーダーリング導入時に看護支援システムを検討、運用を開始した時の喜びや、救急外来が救命救急センターとなったことで最先端の医療に関わり救われる生命に感動し、看護師の役割と責任を強く感じたことを思い出します。当院に就職した頃は育児と仕事を両立する看護師が少なく、院内保育所に子供を預けスタッフの皆さんに助けをいただき仕事を継続してきました。また、仕事と育児の両立に思い悩みながらも続けてこられたのは、日々患者さんやご家族の方が病氣と向き合う姿勢に感銘を受け「その時を一生懸命にやる」という考えを原動力にすることができたからです。今後もこの表彰に恥じないよう努力する所存です。これまで支えていただいた多くの方々に深く感謝申し上げます。」



村川さくら初期研修医が第209回日本呼吸器学会関東地方会 医学生・初期研修医セッションで奨励賞を受賞

日本呼吸器学会関東地方会で発表する機会をいただき症例発表をしてきました。多くの指導医の先生方に支えていただき、熱心にご指導して下さったことで無事発表を終えることができ、深く感謝しています。一般的に病院での日常は時間に追われてしまうことが多く、まだまだ日々勉強することばかりの私たちにとって実際の診療で経験したことをまとめるという作業は後回しになってしまいがちですが、一つの発表を通して細かいデータをまとめたり、多くの人と検討し合ったりなど、そんな小さな経験の積み重ねによって現在の医療が成り立っているということを実感しました。今回の体験を踏まえ現代の医療と環境に感謝するとともに今後の医療への責任を自覚して、今後も多くを学びながらよりよい医師を目指して努力していきたいと思えます。

「がんに対する 腹腔鏡手術の現状」を開催しました

第19回 公開医療講座



がん手術の方法を説明する夏目部長

7月10日(木)に市民文化創造館(きらら)にて、夏目俊之消化器外科部長を演者とした公開医療講座を開催しました。

「がん手術とはどういうものか?」から始まり、「腹腔鏡手術とは?」、「腹腔鏡手術と開腹手術の違いは?」、「腹腔鏡手術のメリットは?」などについて、イラストや動画でわかりやすい解説がなされ、市民の方々の理解度が深まっていたようです。夏目部長は、「腹腔鏡手術は必ずしもすべての患者さんに優れているわけではないため、がんを治すために一番良い治療法は何かを考えて選択してもらいたい。そのためにも、今回の講座で知識をつけ、いざという時に焦ることのないようにして欲しい。」と語りました。

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

救命救急センターの現場から

～院外心停止患者の社会復帰！～

船橋のドクターカーシステムの目的の一つは、この地域における院外心停止患者の社会復帰率を向上させることでした。院外心停止と言ってもいつ倒れたか分からない症例から目の前で倒れた症例などさまざまです。その中でも目の前で倒れた（目撃者あり）、心臓が痙攣している（心室細動）症例をどれ位社会復帰させられるかで、その地域の救急医療の質の高さが分かると言われています。船橋のこの社会復帰率は約30%と全国一です。ちなみに世界で最も救急医療が進んでいるアメリカのシアトル市は約50%弱と言われています。

船橋市では、平成25年8月1日より「船橋まちなかAEDステーション」事業により、市内の24時間営業のコンビニエンスストア199店舗にAED（自動対外式除細動器）が設置されています。目の前で誰かが倒れて、意識がなければすぐに、1) 119番通報し、2) 胸骨圧迫を開始し、3) AEDを使用してください。すぐに救急車とドクターカーが現場到着し、患者さんを引き継ぎ、病院内と同じ治療を開始します。心臓が痙攣していると全身に血液を送ることが出来ませんから、出来るだけ早く心拍再開させ、全身に血液を送ることが出来るようにしなければなりません。心拍再開後は、急性冠症候群（心臓を養っている血管が細くなったり、詰まったりしている）が最も多い原因として考えられますので、病院に行って、集中治療が必要となります。この心室細動で亡くなられたのが高円宮様でした。もしドクターカーがある社会復帰率の高い船橋で倒れていたら……。やっぱり住むなら船橋！救急先進都市ですね！

救命救急センター長 境田 康二



西安市使節団来院



7月1日

船橋市の友好都市である中国西安市から6名の使節団が当院を訪れ、ドクターカーや救命救急センターを視察しました。救命救急センターでは、救急処置室から近い場所にアンギオなどの高度医療機器が配置されていることに強い関心を示していました。

「リレーフォーライフちばスマイル」駅伝開催



7月19日
26日

「がん患者とその家族や支援者を地域社会と共に支えよう」ことを目的に「リレーフォーライフちばスマイル駅伝」が開催されました。千葉県地域がん診療連携拠点病院である当院は、7月19日にゴール地点として親子ランナーを迎え、翌週の26日には、12人でタスキを繋ぐ最初のランナーとして丸山診療局長を送り出しました。

ご存知ですか？ がん相談支援センター

「がんと診断されて、誰かに話を聞いて欲しい」、「がんって医療費が高つくのかな？」。

そんな患者さんやご家族の不安や悩みを相談できるのが「がん相談支援センター」です。スタッフがお話を伺い、一緒に考え、不安や悩みを和らげるためのお手伝いをしていきます。相談料は無料です。当院を受診中の方でなくてもご利用いただけますので、まずはお気軽におたずねください。

公開医療
講座

第20回 「女性なら知っておきたい乳がんのこと ～12人に1人がかかる病気～」

日時：10月9日（木） 午後2時30分～3時30分
講師：松崎 弘志（乳腺外科部長）
会場：市民文化創造館（きらら）

定員：当日先着199人
費用：無料
問い合わせ：医事課

ぜひご参加
ください

看護師募集

平成26年度募集概要

今後の試験実施予定

- 資格／看護師・助産師免許をお持ちの方又は、27年3月までに取得見込みの方
 - 募集／看護師・助産師（正規）
 - 休日／4週8休制
- ※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。

試験日	受験申込期間
10月18日（土）	10月8日まで
12月20日（土）	11月10日～12月10日
27年1月24日（土）	26年12月15日～27年1月14日

船橋市立医療センター

電話番号 047-438-3321(代)

外来担当医師一覧表

平成26年10月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	兒島 隆太	前川 祐子	下山 立志	関根有希子	[交替医]	消化器の(火)の水本、(水)の安藤、(木)の関、(金)の小林は予約患者のみ
	呼吸器	中村 祐之 柳澤 麻子	天野 寛之 中村 純	多部田弘士 巴山 紀子	中村 祐之 中村 純	多部田弘士 天野 寛之	
	消化器	水本 英明	水本 英明 関 厚佳 興梠 慧輔	安藤 健 東郷 聖子	水本 英明 関 厚佳	小林 照宗 安藤 健 今関 洋	腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
	代謝腫瘍	岩岡 秀明 平野 聡	下山 立志	中村 俊介	下山 立志	岩岡 秀明 平野 聡	
心臓血管センター	循環器内科	予約 稲垣 雅行	福澤 茂・黒岩信行 沖野 晋一	前川 潤平 稲垣雅行・内山真史	杉岡 充爾 市川壮一郎	福澤 茂 池田 篤史	※(火)は第1・3・5稲垣、第2・4内山
	新患	前川 祐子	池田 篤史	[交替医]	沖野 晋一	[交替医]	
	心臓血管外科	[手術日]	高原善治・茂木健司	[手術日]		[手術日]	午後1時30分から ※第1・3・5高原 ※第2・4 茂木
緩和ケア内科				[交替医]	[交替医]		午前9:00～ 予約患者のみ
精神科		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要(電話可)
小児科		木谷 豊 伊賀 裕子	佐藤 純一 内山 薫	丹羽 淳子 斉藤 裕子	木谷 豊 升田 真依	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	消化器・一般	丸山 尚嗣 宮崎 彰成	渡辺 義二 夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 山本 悠司	田中 元 吉岡 隆文	宮崎 彰成	(月)松崎 午前のみ (火)丸山 午前のみ (水)佐塚、吉原 午後のみ (金)金田 午後のみ
	乳腺	松崎 弘志		松崎 弘志 佐塚哲太郎 吉原ちさと		唐司 則之 松崎 弘志 金田 陽子	
	新患	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	
整形外科		[交替医] 橋本 瑛子 [手術日]	池之上純男 高瀬 完 [交替医]	三村 雅也 鮫田 寛明 新保 純	[交替医] [手術日]	[交替医] 染谷 幸男 [手術日]	予約のない患者は (月)・(木)・(金)
形成外科		[手術日]	葉丸 洋秋	葉丸 洋秋	[手術日]	佐藤 宗範	
脳神経外科		唐澤 秀治 鈴木 孝典 鈴木 健也	唐澤 秀治 [手術日]	畑山 和己 根本 文夫 唐澤 秀治	唐澤 秀治 安間 芳秀 [手術日]	内藤 博道 唐澤 秀治	
呼吸器外科		内田 修 一ノ瀬修二	[手術日]	内田 修 一ノ瀬修二	木下 孔明 [交替医]	[手術日]	(水)は内田・一ノ瀬が交替
皮膚科		大田 玲奈	大田 玲奈 宮川 健彦	[手術日]	大田 玲奈 宮川 健彦	[交替医]	予約患者のみ (金)は大田、宮川が交替
泌尿器科		武田 英男 [手術日]	佐藤 信夫 樋口 耕介	佐藤 信夫 [手術日]	佐藤 信夫 武井 亮憲	佐藤 信夫 黄 和吉	
産婦人科		斉藤 俊雄 小島 淳哉	[外来診察医] 林 敏 [手術日]	斉藤 俊雄 佐川 泰一 [手術日]	長嶋 武雄 小島 淳哉	長嶋 武雄 [手術日]	
眼科		上原 七生 谷口 有子	松枝 美文 [手術日]	松枝 美文 [手術日]	上原 七生 小林 晋二	小林 晋二 谷口 有子	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科		[手術日]	小林 皇一 堀中 敦史 派遣医師	小林 皇一 堀中 敦史 派遣医師	[交替医] 派遣医師 [手術日]	小林 皇一 堀中 敦史	休診(月)
放射線治療科		東ヶ崎巖太郎	有賀 隆	酢谷 真也	有賀 隆	有賀 隆	新患は事前予約が必要
麻酔科		境田 康二	午前9:00～11:00 予約患者のみ				
歯科口腔外科		村野 彰行	村野彰行・齋藤智昭	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	
特殊外来	女性専用(内科)			古池 織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)		小川 真				午後1:30～予約患者のみ 第1週のみ(電話可)
	神経内科(内科)			澤井 撰			午後1:00～予約患者のみ(電話可)
	ステントグラフト外来(心外)		桜井 学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			[交替医]			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤純一・[交替医] 斉藤 裕子	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ (火)は第2・4
	小児神経(小児)				林北見・牧野道子		午後 予約患者のみ 月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡 祐子		午後 予約患者のみ 月2回
	小児外科(外科)				中田 光政		
脳神経内科(脳神経外科)					東 美和	午前9:30～ 予約患者のみ	
脳リハビリ(脳神経外科)		唐澤 秀治		唐澤 秀治			

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓の予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。